

会議録

1 会議の名称 第1回公民館・町民会館整備検討委員会会議

2 開催日時 令和2年7月29日（水）午後7時00分～午後8時45分

3 開催場所 熊取交流センター（煉瓦館） 体験ホール

4 議題

案件1 委員長及び副委員長の選出について

案件2 熊取町公民館・町民会館の整備について

案件3 熊取町公民館・町民会館整備基本構想（素案）について

案件4 熊取町公民館・町民会館整備事業 基本設計・実施設計プロポーザル実施要領（素案）について

案件5 その他

5 公開・非公開の別 全部非公開

【非公開の理由】

会議を公開することにより、公正・円滑な審議が阻害される恐れがあり、会議の目的が達成できないと認められるため、情報公開条例第6条に基づき、非公開とする。

6 傍聴者数 0人

7 審議等の概要

案件1 委員長及び副委員長の選出について

委員の互選により、委員長及び副委員長を選出した。

案件2 熊取町公民館・町民会館の整備について

○事務局説明

①公民館・町民会館整備にかかる経緯、②整備検討委員会の所掌事務、③会議の公開・非公開の決定について説明を行った。

○会議の公開・非公開について

委員長が各委員に、非公開とすることに対して異議がないか諮り、非公開とすることを決定した。

案件3 熊取町公民館・町民会館整備基本構想（素案）について

○事務局説明

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

- ・公民館は大規模改修、ホールは建替ということだが、公民館とホールは行き来できず、孤立したものとなるのか。
⇒（事務局）利用形態は、従来どおり、行き来できる形で整備したいと考えている。

- ・ホールを400席、舞台拡大、控室、授乳室等を整備する構想だが、現在の土地で可能なのか。
⇒（事務局）ホール前の階段・植栽スペース、外環までのスペースを活用することで、可能だと考えている。

- ・利用者数の低下の原因はどこにあると認識しているか。
⇒（事務局）アンケート結果から、現状の施設の雰囲気等が原因のひとつとして考えられる。また、運用面では、講座の提供や貸館業務といったものだけに留まっていることなどが考えられる。

- ・利用率・利用者数が減っているからニーズが充足しているという判断をするのが妥当かどうかは言えない。施設の不備があり、使い勝手が悪いから減っていく場合もある。広い意味での公民館活動は、「公民館」という名前がついているところのみで行われているのではなく、煉瓦館・子どもセンター・図書館もそういう性格を持っている。町として全体の公民館活動をどう引き上げるかという視点の中で今回の改修を位置づけるという観点が必要。貝塚市などは公民館活動が活発であるが、熊取町より先進的な活動をやっている所の経験なり実態などをどの程度踏まえて、熊取町としてのあるべき姿を事務局として考えているのか。
⇒（事務局）ソフト面・運用の考え方は大事。現在の施設は社会教育法に基づく公民館だが、社会教育法の枠組みを超え、柔軟に運営できる生涯学習関連施設にして整備することも考えられる。煉瓦館は、社会教育法に基づく公民館ではない生涯学習関連施設であり、同じような形で取り組めたらと思っている。

- ・現在の公民館は、クラブ・講座に来るといった人の目的利用が主になっている。資料に「親しみ」「気軽さ」を打ち出しているが、「誰もが気軽に参加できる」という観点では検討が必要。
～検討の視点～
 - ◆「公民館ロビー（実践・ソフトでもある）」について
 - ・子どもから高齢者までの交流の場を創出
 - ・障がいがある青年がカフェの運営をしながら共生の社会作りをロビーから発信（東京国立市）このように、ホールのホワイエのみではなく、「公民館ロビー」という考え方を是非取り入れた方が「親しみ」という点からすると望ましいのではないかと思う。

◆子育て世帯のニーズについて

貝塚市のコスモシアター、山手地区公民館では「公民館保育室」が小さい子をもつ方が学ぶ場を保障する仕組みとして整えられている。子どもを連れて過ごす空間として公民館が機能しており、そういった形での発展のさせ方もある。

◆若者のニーズについて

音楽活動・ダンス活動など、「自分たちがやりたいことを自由に思う存分できる空間」が必要。貝塚市では、ホールを開放したところ、泉南地区の高校のロックや軽音楽を楽しむ高校生が押し寄せたため、ひとつの場所や楽器を共同で使ったり、自分たちとで自主的に進めるための連絡会という仕組みを作るなど、公民館が若者を育てる実践の「中身」に繋がった事例がある。

- ・熊取町として、どういうコンセプトでホールを作っていくのか。様々な自治体で非常に特徴的なホール（扇型増加傾向、音楽・演劇等何らかの形に個性を持たせたホール等）が作られている。熊取町として「独自性」と「先進性」を持たせること、また、住民のニーズに叶っていくような方向性がどういうものであるのか。（単に席数だけの話でない。）

⇒（事務局）「コンセプト」という形ではまとめていない。

- ・建物周辺の附属施設（駐輪場、横断歩道が危険）にも目を向け、利用者が安全に横断できる環境の整備をよろしく願いたい。

- ・施設前の横断歩道は非常に危ない。利用者の「動線」をどう考えるかという問題は重要。日常的なホールの利用に繋がる諸活動を保障する「ハード」「環境」をどのように作るかということと言うと、公民館の改修や他施設との在り方とも絡んでくる。その辺りの視点を事務局として検討されていることはあるか。

⇒（事務局）400席の根拠は、ひまわりドーム・煉瓦館の中間的なイメージである。
また、発表する場としてステージを拡張したい。今後成人式をホールで開催したいと考えている。

- ・特徴的なホール（例えばアプラ高石、貝塚市の公民館活動）の調査を実施し、それを踏まえて熊取町としての在り方を考えるという手続きが必要。ちょっと考えてみていただければと思う。

- ・資料に記載の「多目的」という視点・発想はどういったものか。

⇒（事務局）ステージだけではなく、音楽・ダンスができるスペースを作るということも考えているところ。（ホール座席の工夫など）

- ・全部を備えることはできない中で、「何に重点を置くか」ということを、また詰めておいていただければと思う。

- ・耐震診断状況実施済みということだが、数値結果は公表しているか。
⇒（事務局）数値結果は公表していない。
- ・構造設計の安全率（設計業者に対する構造の強度）の指定は行うのか。また、行うのであれば、安全率の数値はいくらで行うのか。
⇒（事務局）別に準備している「特記仕様書」で指定を行う予定であり、IS 値は0.6以上としている。
- ・停電対応（発電機、燃料の保管）、災害に備えた資材や緊急時に使うための備蓄品の保管量は面積効率に関係する。また、停電に対する対応は費用がかなり掛かる。設計業者に対して、これぐらいのスペックを求めますといった指定をする予定になっているのか。
⇒（事務局）業者に示す内容については、現在無い状態である。
- ・町として求めるスペック（※）は今後検討し、設計に対して指定をしていく方がよろしいかと思う。
（※）スペックの例
 - ・どれぐらいの保管場所があるか
 - ・停電時はどれぐらいの電力を維持したいか

○審議結果

委員からの意見を踏まえて素案の修正を行うこととし、継続審議案件とした。

案件4 熊取町公民館・町民会館整備事業 基本設計・実施設計プロポーザル実施要領（素案）について

○事務局説明

【委員からの主な意見、質問等と事務局の返答】

- ・特に特徴的なことはあるか。
⇒（事務局）第2次審査の技術提案テーマに「新たな利用促進」を入れている点である。

○審議結果

基本構想（素案）の修正に伴い、プロポーザル実施要領（素案）についても修正を行うこととし、継続審議案件とした。

案件5 その他

○整備検討委員会の今後の開催予定について、事務局から説明を行った。

8 会議の情報

| | |
|-------|---|
| 名称 | 熊取町公民館・町民会館整備検討委員会 |
| 根拠法令等 | 熊取町公民館・町民会館整備検討委員会設置要綱 |
| 設置期間 | 令和2年6月24日～所掌事務が終了するまで |
| 所掌事項 | (1) 基本構想の策定に関すること (2) 公募型プロポーザルにおける業者選定に関すること (3) 基本設計の策定に関すること (4) その他基本構想及び基本設計の策定に関し必要な事項 |
| 委員数 | 11人 |

9 担当課

生涯学習推進課